

栗山町内
連合会だより

発行：栗山町内連合会
編集：編集委員会
 檜崎 忠彦

発行にあたり



栗山町内連合会長
 桃澤 忠彦

師走に入り、皆さまにおかれましては、ますますお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

日頃より、町内会活動に格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、今年、栗山町内連合会は、創立六十周年を迎えました。ここに改めて、これまでの関係各位の特段のお支えに厚くお礼申し上げます。

本会は、昭和三十一年に創立されて以来、六十年間にわたり、地域の皆さんとともに、住みよい豊かなまちづくりの推進に努めてまいりました。

しかしながら、本格的な人口減少・少子高齢社会を迎え、地域では、高齢者の生活の見守り、子どもの安心・安全など、新たな課題が生まれています。

また近年、自然災害が多発しています。今年、北海道では、相次いで

三つの台風が上陸し、全道各地で大雨による土砂崩れや河川の氾濫に伴い甚大な被害をもたらしました。

栗山町においても、道路、農地の冠水などが発生し、自然の脅威を痛感するとともに、地域における防災への対応や体制づくりなどの重要性を改めて認識したところです。

さて、本会では、総務部会、施設部会、厚生部会の三つの専門部会を設け、活動の推進を図っています。

本年は、「創立六十周年記念パークゴルフ大会」「環境美化を啓発するのぼり・看板の設置」「市街地危険箇所等の調査」などの事業を実施いたしました。

今後におきましても、地域の課題調査・検討を行い、事業を進めてまいります。

町内会の役割は、ますます重要になっていきます。本会としても、町や関係機関と連携を図り、「人と人のつながり」「顔の見える関係づくり」を大切に、安全で安心して暮らせるまちづくりや地域における様々な課題解決に向けて取り組んでまいりますので、皆さまの一層のお力添えをお願い申し上げます。

栗山町内連合会創立60周年記念パークゴルフ大会



八月二十九日(月)、「創立六十周年記念パークゴルフ大会」を栗山ダムパークゴルフコースで開催しました。
当日は見事な快晴に恵まれ、青空のもと、総勢三十チーム、百二十人がプレーを楽しみました。
パークゴルフ大会は、町内会の親睦交流と健康増進を図るため毎年行っているもので、今年も記念大会として、各連合会、自治会にもご案内し、角田・継立・大井分地区の皆さんにも参加をいただきました。
結果は、昨年度準優勝の「中央町内会Aチーム」が、見事優勝を飾りました。

なお、開催にあたり、栗山町パークゴルフ協会の皆さまにご協力をいただきました。ありがとうございました。



創立60周年記念パークゴルフ大会 上位成績表

順位	町内会名	得点	出場メンバー	
1	中央町内会A	307	高畑 芳行 谷内 勇	柏 辰美 氏家美也子
2	南町内会A	317	五十嵐俊二 阿部 芳子	阿部 秀邦 北山 久恵
3	松風第9町内会A	319	千葉 盛男 山本 幸一	鈴木 勝己 山本アイ子
4	山の手町内会A	319	沼山 一夫 中村 茂	藤原 武
5	新里町内会A	320	渡辺 忠春 堀 和夫	宮本 良一 長澤 薫
6	みなみ中里町内会	321	大槻 竹夫 久保田 裕	内藤 昭一
7	松栄町内会A	323	中田 昭信 廣瀬 則男	本田 トワ 関 忠雄
8	朝日町内会	323	福永 隆治 渡辺 清	高橋 正昭 高島 健治
9	睦町内会A	325	南畑 博一 中村 優	松尾 輝幸 南畑 京子
10	南町内会B	328	新谷 信典 島本 民男	北山 敏夫 阿部美智子

※得点は上位3名の合計点数です。

(敬省略)

栗山町内連合会表彰

木藤 清 様 (松風本町町内会長)
太田 欣仁 様 (松風第2町内会長)
斎藤 優子 様 (松風第1町内会長)
(故) 藤原 東峰 様 (桜丘町内会長)

五年以上の長きにわたり、町内会長として、よりよい地域づくりに尽力されました四名に対し、町内連合会顕彰申合せ事項に基づき、感謝状を贈呈しました。

環境美化啓発 看板の設置

昨年度に引き続き、ごみのポイ捨て禁止と、犬のフンの後始末を啓発するための「のぼり・看板」の配付事業を行いました。

今年度は、希望のあった二十の町内会に配付し、六月末に一斉に設置されました。

この啓発活動により、美しいまちづくりに対する関心が全町的に広がり高まることが期待されます。



市街地危険 箇所等の調査

六月に、地域の環境保全、安全確保の妨げとなる危険箇所等の調査を行いました。

加盟する三十八町内会から、空き家、空き地、道路の危険箇所など、全十三件の報告があり、町に改善依頼要望書を提出しました。

すでに解決された案件もありますが、未解決の案件については、今後も継続した取り組みを実施いたします。

先進地 研修視察報告



十月十九日、町内会長十五名が、研修視察を行いました。

今年の研修テーマは「景観まちづくり」で、恵庭市役所を訪問し、「花のまちづくり」を研修、その後、苫小牧市のごみ処理施設「沼ノ端クリーンセンター」の見学をしました。

恵庭市は、道内有数の花の生産地で、市民と行政が一体となつて、商店街や道路、個人の庭を花で飾り、快適で美しいまちづくりを進めており、市民の力で花のまちづくりを支えていることがわかりました。また、市民の参加を促すために、市民が中心となつて、花壇コンクールや写真展を開催するなど、大変参考になる取り組みが行われていました。

苫小牧市沼ノ端クリーンセンターでは、ごみの減量化に向けた取り組みを学びました。

クリーンセンターに併設されているリサイクルプラザでは、大型ごみとして出された家具や自転車を修理して販売したり、廃食油からの石けん作り、布ぞうり作りなどの体験学習を行っていました。一日を通して環境づくりについて学ぶことができ、今後、本会としても様々な取り組みを検討していかなければならないと感じた研修となりました。



町内会に加入しましょう

町内会では、さまざまな活動に取り組んでいます。皆さんも、お住まいの地域で町内会に加入し、いざというときに助け合えるご近所のきずなづくりをしていきましょう。



【お問い合わせ】

町内連合会事務局(町経営企画課地域政策グループ) ☎73-7502

コミュニティスクール 栗山小学校運営協議会の活動

子どもと大人が挨拶を 交わし合う町内会を

今年四月から、栗山小学校運営協議会がスタートしました。有識者、地域代表、家庭代表、学校関係者全十三名で構成され、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支えていく活動を検討し具体化する組織です。

【くりっくクリーン作戦】

最初の取り組みは土曜授業による「くりっくクリーン作戦」でした。子どもたちが学年ごとに担当区域を決め、地域の人たちと一緒に公園や通学路のゴミ拾いを行いました。壊れた自転車の部品、空き缶、空き袋等、ごみ袋十袋分のゴミが集まったそうです。

額に汗を浮かべて地域の人たちと協働する中で、子どもたちは地域の役に立ったことの達成感や自己有用感を高めたように思います。



(土曜授業の様子)

【町内会の活動を子どもたちと一緒に】

地域と学校の関わりでは、今回のように学校の行事や日程に合わせて地域でサポートするという形が一般的ですが、それぞれの町内会活動にもっと子どもたちが参加するように働きかけることが必要だと思います。

「全町一斉清掃」「花いっぱい運動」「防災訓練」「ラジオ体操」「レクレーション」等の事業に子どもたちと大人が一緒に参加することで相互交流が生まれます。

「おはようございます」「こんにちは」等のあいさつや「どうしたの」等の声かけが日常的に交わされることが、地域全体で子どもたちの成長を支える原点になるように思います。学校と家庭と町内会が連携協力して働きかけていくことが大切です。

そうした日常の関わりの上に、「学習サポート教室」等の活動を積み重ねていくことが学校運営協議会に求められているのだと思います。

(初山 清仁)

栗山小学校運営協議会委員

(地域・町内連合会代表)

初山 清仁
古野 憲次郎



(防災訓練の様子)